

あそびのしおり

子どもにとっての「あそび」は、脳とからだの育ちにとって
欠かせないものです。

食事の栄養とは異なる、もう一つの栄養です。

「あそび」と言っても、大人がイメージする遊びとは異なります。

例えば、

目の前に人がいる(視覚を使って認識)、見たいと思う(気持ち
の芽生え)、見ようとする(運動として表現)

触ったり触れられたり、バランスを保ちながら体を動かすこと
によって自分の体を知り、ボディイメージが作られます。

このような感覚運動体験と親子のふれあいが、子どもの心と
からだを育てる「あそび」です。

あそびのしおりを通して、月齢や体重、病気のあるなしに関わら
ずどんな赤ちゃんにも発達につながるあそびを体験していただ
ければ幸いです。

このしおりでは、生まれたての赤ちゃんから1歳ごろまでの
「あそび」を順に紹介しています。

どれもおうちの中で出来て、特別な道具は要りません。

すべての赤ちゃんの発達には、次につながる大切な要素があり
ます。どの時期に出来たかよりも、確実に一つずつのステップを
積み重ねられるように並んでいます。

また、発達ペースは赤ちゃんによってそれぞれなので、あそびを
月齢で分けるような表記はしてません。

どの「あそび」が今のお子さんに適しているのか分からない場合
には、スタッフにお声かけください。

